

人類学（人類学）

1 年次 前学期	授業科目責任者：河野 礼子（兼任講師：1 年次学年教育主任）
----------	--------------------------------

学習の目標 (GIO)	本講義では、人類進化全般について総合的な理解を目指す。前半は進化そのものの理解や、進化過程を研究する方法、またヒトの生物としての位置付けなど、人類進化を学ぶ上で必要となる基礎的な知識を習得する。後半は実際の人類進化の過程をみていく。特に歯や骨の機能形態学的な考察を中心とし、人類進化史解明にかかわる関連諸分野の知見と合わせて紹介する。
授業担当者	河野礼子
教科書	『歯科に役立つ人類学』 金澤英作・葛西一貴ほか編著・わかば出版 『日本人の歯とそのルーツ』 金澤英作著・わかば出版 その他必要に応じて資料のプリントを配布する。
参考図書	「ヒトの進化 シリーズ進化学」・斎藤成也ほか・岩波書店 「絵でわかる人類の進化」・斎藤成也ほか・講談社 「人間史をたどる 自然人類学入門」・片山一道ほか・朝倉書店 その他、必要に応じて授業中に適宜紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	・ 定期試験を実施し、その結果によって評価する。 ・ 試験には全講義の内容から満遍なく出題する予定である。
学生への メッセージ オフィスアワー	数多くのトピックスを紹介するが、個別の専門用語などをやみくもに暗記せよというのではなく、それぞれのつながりやその意味などを考え、全体像として理解してもらうことを望む。そのためにも講義中は質問・意見など積極的な発言を歓迎する。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月10日(火) 2時間	生物の一員としてのヒト	人間も多様な生物世界の一員であり、基本的には特別な存在ではない。生物としてのヒトの位置付けを、「分類」の基礎的な仕組みとともに理解する。	河野礼子
4月17日(火) 2時間	進化のメカニズム	ヒトに限らず生物について学ぶ上で欠くことのできない、進化に関する理解を身につける。生物の進化は物理法則などによって完全に説明できるものではないが、ある程度のルール・原理にもとづいたものである。これらの原理や一般的な進化の仕組みについて学習する。	同上
4月24日(火) 2時間	実際の進化過程を明らかにする方法	ルールや原理とは別に、実際の進化の過程は言わば「歴史」であり、偶然の要素による部分も大きい。したがって、実際に起こった進化過程を明らかにするためには、過去をさぐる多様なアプローチが必要である。各種アプローチについて具体例をあげながら学習する。	同上
5月1日(火) 2時間	歯や骨からわかること (1) 機能と形態	生物進化の歴史をたどる際に、もっとも重要な材料となるのが、その生物の歯や骨などの遺残物である。人類進化研究においても、数百万年におよぶ進化史も、日本人の数千年の道のりも、いずれも主として歯や骨の研究を通じて理解されてきた。歯や骨からどのように進化の歴史を解明していくのかを二回にわたって学ぶ。一回目は主に骨や歯の形と機能の関係に着目する。	同上
5月8日(火) 2時間	歯や骨からわかること (2) 生活史と小進化	二回目は人骨資料を対象とした研究方法について学習する。個体のアイデンティティーや暮らしぶりから、集団としての特徴、移動の歴史まで、様々な情報がどのように得られるのかを学ぶ。	同上
5月15日(火) 2時間	霊長類の一員としてのヒト (1) ヒトの位置づけ	ヒトは霊長類の一員である。ヒトはこの霊長類というグループの一般的な特徴と、このグループ内でも特異なヒト特有の特徴とを併せ持っている。このあとのヒトの進化史を学ぶための基礎として、霊長類としての特徴・ヒトの独自性について学ぶ。さらに類人猿と比較した場合の、ヒトの形態的な特徴とその意義を理解する。	同上
5月22日(火) 2時間	霊長類の一員としてのヒト (2) 現生霊長類に学ぶ	現生の霊長類、特に現生大型類人猿の社会性や行動・生態などを調査する比較行動学的研究が、ヒトの進化研究のモデルケースとしてなぜ重要なのかを理解し、実際の研究の現状をみる。	同上
5月29日(火) 2時間	人類進化の概略と年代	人類の進化を知るとはということかについて確認し、霊長類から人類へ実際の進化の時間的枠組みを理解する。また、化石資料の年代決定手法のあらましを学ぶ。	同上
6月5日(火) 2時間	人類の進化 (1) 霊長類の進化とヒト科の出現へ	以降5回にわたってヒトの進化史をたどる。霊長類出現以降の霊長類の進化史を概観し、ヒト科出現前夜までを追う。	同上
6月12日(火) 2時間	人類の進化 (2) 猿人	ヒト科の最初の生き物である猿人について、これまでにわかってきたことを学ぶ。彼らをヒトとする根拠となる形態特徴等について理解する。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月19日(火) 2時間	人類の進化 (3) ホモ属の誕生と発展	出アフリカをはじめて果たしたホモ属の人類について、猿人との身体的違いを理解し、その出現の背景と発展の様相を学ぶ。	同上
6月26日(火) 2時間	人類の進化 (4) ホモ・サピエンスの 起原と拡散	全世界中へ居住域を広げて今日へとつながるホモ・サピエンスの進化史を学ぶ。現在の世界各地に見られる地域集団の特徴とその形成の意義を探る。	同上
7月3日(火) 2時間	人類の進化 (5) 日本列島のヒトの進化	日本人の起源と現在の日本人集団へ至る道のりについて、これまでに明らかになってきたことを、関連するさまざまな具体的研究例の紹介をまじえて概観する。	同上
7月10日(火) 2時間	歯の人類学(1)	人類進化の研究において、歯という存在がこれまでに果たしてきた役割は非常に大きい。最近でも、歯の形態や機能を評価する新しい視点や手法の提案がしばしばなされ、新たな理解につながっている。歯を題材としたさまざまな研究やそこから得られた解釈などを紹介する。	同上
7月17日(火) 2時間	歯の人類学(2)	歯に関連する人類進化研究の事例を紹介し、さらに理解を深める。	同上